

早いものでこの留学プログラムも終わりを迎え、残すところ達成度試験のみになりました。今月は、最終報告書として、これまでの留学生活のまとめを報告したいと思います。

## 交換留学を通して

本学の留学プログラムを通して、6月に渡米しました。渡米した当初は、これからの生活が楽しみな反面、無事にアメリカで生活ができるかどうか不安でしたが、実際のところ、日本で暮らすのと同様に、普通に生活することができました。渡米後すぐにIEI(語学学校)で2か月間英語を勉強しました。私は、様々な国の人と授業を受けました。そこで、英語のみならず他の国の宗教、文化等学ぶことができるとてもいい経験ができました。その後、UIUC(イリノイ大学)で実際に授業を受けました。授業を受け始めた当初、正直先生が説明していることがほとんど聞き取れず、とても悔しい思いをしました。また、英語のクラスESLでは、授業内にディスカッションが含まれており、とても大変でした。しかし、頑張ったおかげで、良い成績でその授業を乗り越えられました。後学期にはいってからは、主に専門科目を履修しました。実際、宿題の量が多くとても大変でした。また、専門科目の教科書はとても分厚い上、自分のReadingスピードがとても遅かったため、苦勞しました。留学前に英語の論文読みこむ、英語の教科書で勉強しておくべきだったとすごく後悔しました。ただ、できないなりに頑張ったため特に力を入れた科目では、自分の納得できる結果を出せたと思います。あとは、残された達成度試験頑張りたいと思います。

課外活動では、英会話を楽しむサークルや剣道部に入っていました。英会話を楽しむサークルでは、様々な国の学生と出迎え、また英会話の練習になり、とてもいい時間を過ごせました。そして、剣道部については、剣道部に入った等当初、今ここで剣道を練習する時間はもったいないと思うことはあったけれど、練習中は、英語で会話、説明したりと、英語の勉強にもなりました。そして、実際に大会にも参加できてとてもいい思い出を作れました。また、剣道部のメンバーとはとても仲良くなり、一緒にお昼ご飯を食べたり、おいしいレストランに連れて行ってもらったりと、剣道部に入ってよかったと思います。

1年を振り返り、実際UIUCで勉強できてとても良かったと思います。授業中では、積極的に先生に質問するなどUIUCの学生にはとても見習うものがありました。また、UIUCのエンジニアリングは世界でも上位、そういった環境で勉強できたことはとてもいい経験になりました。そして、UIUCには、中国、韓国、インド人など様々な国の学生が多くいます。様々な国の友達もたくさんでき、話し、日本のことについてもっと知りたい、他の国についても知りたいと思うようになりました。何より自分自身が今までとても狭い世界で生活していたということに気付かされました。そして、英語能力については、渡米した時に比べると向上しましたが、自分が思っていた英語能力まで到達するのはできなかったです。しかし、ホントに大事なのはこれからで、帰国後もしっかり英語の勉強を続け、自分の目標に到達できるよう日々頑張っていきたいと思います。この交換留学を通じて様々な経験を積むことができました。この経験を活かして、これからの生活より充実したものにしていきたいと思っています。

最後に、この交換留学の機会を与えてくださった国際交流室室長札野順教授、佐藤恵一教務部長、指導教員である南戸秀仁教授、国際交流室スタッフ皆様方、両親に感謝したいと思います。留学させていただき、ありがとうございました。